

 ヒューマンホールディングス株式会社

ひゅーまんだより

平成30年6月号

若菜 新社屋



堂々完成!

強い日差しに季節の変化を感じる今日この頃です。

ご利用の皆様にお便り等でご案内しておりました若菜の新社屋が遂に完成致しました。

桂川にて職員10名で始めた有限会社ケア・サービスもみの木は現在ヒューマンホールディングス株式会社となり、57名の職員が在籍する会社へと成長できました。

この度設立15周年を迎える節目の年に新社屋を構えることが出来たのも、利用者様、ご家族様、各事業所様のおかげであると感謝しております。

本当にありがとうございます。

事業を拡大する度に気を引き締めて参りましたが、今後も利用者様方の生活に末長くお付き合いできるように職員一同初心に帰り日々励んで参る所存です。今後ともよろしくお願い致します。

ヒューマンホールディングス株式会社 会社概要

- 平成15年8月 桂川にて有限会社ケア・サービスもみの木を設立。
訪問介護事業、居宅介護事業を開始。
- 平成16年4月 介護タクシー事業を開始。
- 平成18年4月 もみの木ケアプランセンターを立ち上げ、居宅介護支援事業を開始。
- 平成23年4月 新立岩に移転し、ヒューマンホールディングス株式会社へ社名変更。
新たにシニアコミュニティもみの木を立ち上げ、予防通所介護事業を開始。
- 平成24年4月 椿にてシニアコミュニティつばきを立ち上げ、通所介護事業を開始。
- 平成27年1月 もみの木相談支援センターを立ち上げ、相談支援事業を開始。
- 平成28年7月 おひさまを立ち上げ、障がい児の通所事業を開始。
- 平成30年6月 若菜に新社屋を建設し、12日よりサービスを開始。

〒820-0082

福岡県飯塚市若菜256-77

ケア・サービスもみの木
もみの木ケアプランセンター
シニアコミュニティもみの木
もみの木相談支援センター
電話:0948-26-8338

シニアコミュニティつばき
電話:0948-29-5366

〒820-0001

福岡県飯塚市総田1140-2

おひさま

電話:0948-21-0777

もみの木 つばき

検索

岡部柔道整復師のリハビリ講座

こんにちは、柔道整復師の岡部です。膝痛は筋力の低下によって体を支えきれずに起こることがあります。今回は膝周りの筋力トレーニングを紹介し、筋肉を鍛え、痛みや転倒を予防していきましょう。



膝の痛みの改善ウォーキング

- ① 前かがみにならず背筋を伸ばす
- ② 視線はまっすぐ前をみる
- ③ 膝の内側に力を入れるように意識して歩く
(足の親指に力を入れるようなイメージです)
- ④ 自分の前に一本線があるイメージで綱渡りをするように歩く
(左の爪先の前に右のかかと、次に右の爪先の前に左のかかとがくるように歩く)



膝周辺の筋力トレーニング

膝の痛みの改善ウォーキングの効果をさらに上げるための簡単な筋力トレーニングを日常生活にプラスしましょう！

①～③を1セットとし
1日5セットを
目標に頑張りましょう！



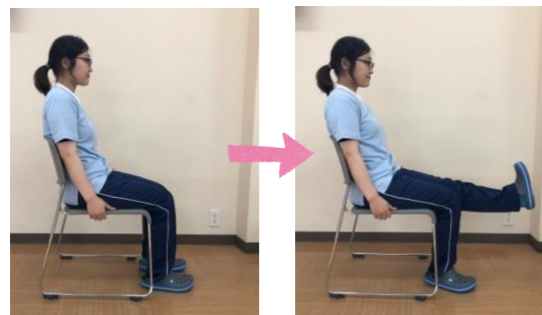
①椅子に座って脚を交差させる



②膝を押し付け合います
(10秒が目安です)



③脚を組み替えて
同じように押し合います



椅子に座りながら膝を伸ばし
水平に保ちます。(5秒～10秒)



仰向けになり運動する足の
逆の膝を曲げその状態で
運動する足をあげていきます。

※無理をせず自分のペース・回数でおこなってください

勉強会 平成30年5月

「もみの木ケアプランセンター」と「もみの木相談支援センター」合同で「ケアプラン作成」について勉強会を行いました。

私達は、利用者様やご家族からお話をうかがい、そこから得た情報を分析し定期的にケアプランを作成しています。利用している事業所からも現在の様子を聞きながら「いま何が必要で、何がなくなったのか」などを判断し、利用者様やご家族に相談しながら具体的にプランに反映させます。

ケアマネジャーや計画相談員が作成したケアプランを元に各事業所が計画書を作成し、サービスを提供します。私達が作成したプランが基準となりますので、ケアプラン作成のポイントを皆で勉強し、現在の利用者様に最適なプランとなるよう努力して参ります。



もみの木ケアプランセンター
もみの木相談支援センター

シニアコミュニティもみの木

シニアコミュニティもみの木では「高齢者の老年症候群のケア」について勉強会を実施しました。



老年症候群とは、内臓や筋肉など全身のさまざまな部分の加齢による機能低下と、それによる活動(運動)の減少を原因として出現する症状の総称です(例：膝痛のためあまり動けなくなり筋萎縮が起こる など)。老年症候群は複数の原因が複雑に絡み合った結果起こるため、病院に行けば解決する、薬を飲めば治るといった単純な話ではありません。

体調が悪くて・・・と休まれる利用者様に対して即座に対応できるようになるために「どのような症状があるのか、その原因は何なのか、どのタイミングで医療機関との連携をとるべきなのか」などの正しい知識を得る必要があります。今回は7つの主な症状を学習しました。職員全員が介護のプロフェッショナルになるべく日々努力していきます。

シニアコミュニティつばきでは「**アセスメント表の見方・考え方**」を学びました。アセスメントとは、利用者様の個人情報が集まったもの のことです。氏名や住所、緊急連絡先、既往歴・現住歴などの他にも、自宅やデイサービスでの利用者様の様子を記載しています。

そのアセスメント表の正しい見方を出来ることは、利用者様の利用時の安全性やサービスの向上と直結しています。今回は2名のアセスメントを5分間という短い時間でどう読み取るかの実践練習を行い、各職種での意見交換を行いました。同じアセスメントでも、介護職員・看護職員・機能訓練指導員・栄養士など各職種によって視点や着目は様々です。

アセスメントを正しく使って職員間の情報共有を行い、利用者様1人1人に適したサービスをお届け出来るよう職員一同、今後も励んでいきます。

シニアコミュニティつばき



おひさま

おひさまでは「**5領域**」について勉強会をしました。

5領域とは、「**健康**」「**人間関係**」「**環境**」「**言葉**」「**表現**」の事を言います。



1. **健康**・・・安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと
2. **人間関係**・・・人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、道徳性の芽生えを培うこと
3. **環境**・・・生命や豊かな心情や思考力の芽生えを培うこと
4. **言葉**・・・生活の中で、言葉への興味や関心を育て、言葉の豊かさを養うこと
5. **表現**・・・様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培うこと

療育では遊びを通じた総合的な学びが基本となりますが、その際 この**5領域**を意識して遊びに取り組み、活動を計画することで、子どもの総合的な学びにつなげることができます。児童一人一人に向き合い個々のペースに合わせたサービスを提供させて頂いています。